

MORITZ GROSSMANN

モリッツ・グロスマン / パワーリザーブ・ヴァンテージ

研ぎ澄まされた審美眼にこそかなう唯我独尊という美学

ブランド名の由来となったモリッツ・グロスマンは、19世紀のドイツを代表する時計師であり、技術に秀でていただけでなく、産業を促進し、技術者を育成する時計学校を設立するなど社会貢献にも努めた。その偉業に敬意を表し、2008年にブランドは創業。視認性の高いシンプルなるバー表示のパワーリザーブに、絶妙な位置とサイズにスモールセコンドが配置され、手仕上げの針は繊細を極める。派手さを嫌い、質かれる独自の美学に魅かれる。K18ローズゴールドケース、41mm径、手巻き、506万円 / モリッツ・グロスマン プティック



GLASHÜTTE ORIGINAL

グラスヒュッテ・オリジナル / SeaQ

人気のダイバーズもドイツが作るとうなる

1969年製のオリジナルダイバーズをモチーフに、現代的な感性を吹き込む。大ぶりの時分針とインデックスは、ドイツらしい機能重視の武骨さを漂わせつつ、ブルーのダイヤルと随所に見られるK18YGのエレガントな組み合わせがスタイリッシュに映える。ドイツと国際的な品質規格の両方を満たす本格的なダイバーズ機能に加え、ベゼルには堅牢なブルーセラミックリングを備え、品質と信頼性も折り紙付きだ。SS×K18YGケース、39.5mm径、自動巻き、156万2000円 / グラスヒュッテ・オリジナル プティック銀座



Chapter

2 W-Selection

腕時計5本の佇まい

ケースや文字盤のデザイン、素材使い、ディテールワーク。一見同じようでも、それぞれがまったく異なる腕時計。素晴らしい腕時計には、唯一無二の存在感が宿っている。強い意志を持つかのように語りかけてくる、5本を厳選した。



WEMPE

ヴェンペ / ツァイトマイスター アニュアルカレンダー

端正なカレンダーモデルに名門時計師の矜持が漂う

140年以上の歴史を誇るドイツの名門時計師店ヴェンペが2006年に自社ブランドを立ち上げた。ブランド創立10周年を記念して製作された本作はアニュアルカレンダーを採用し、小窓ではなく針でそれを表示。ムーンフェイズと相まって、時の移ろいを感じることができる。世界限定100本。SSケース、42mm径、自動巻き、133万1000円 / シェルマン銀座店



SINN

ジン / 103.クラシック12

60年の歴史で磨かれた空のクロノグラフ

創業60周年を記念し、その名を伝えた当時のパイロットクロノグラフ「103」をモチーフにする。第2時間帯を表示する回転ベゼルには、ブランド初のセラミックインサートを採用。精度安定と風防の曇りを防ぐ独自のARドライテクノロジーと20気圧の耐圧性を備える。世界限定600本。SSケース、41mm径、自動巻き、58万3000円 / ホッタ



JUNGHANS

ユンハンス / マックス・ビル メガ ソーラー

時代を超越するデザインがソーラーパワーに進化

バウハウスを代表するデザイナー、マックス・ビルの代表作にソーラーパワーを採用し、タイムレスなデザインばかりでなく、駆動方式もサステナブルに進化した。電波受信により、正確な時刻を表示し、完全放電後も8分間の受光で作動する。軽量のチタンケースで装着感も心地良い。チタンケース、38mm径、電波ソーラー、16万5000円 / ユロパッション

Watch

Vol.22

の群像劇

Chapter

1 W-Fashion

腕時計とファッション

実用主義のジャーマンウォッチ

ひと口に腕時計といっても十本十色の顔がある。それは歴史や外観、機構など多くの構成要素が複雑に絡み合うことで一本の腕時計が作られるからだ。本連載では腕時計が持っているさまざまな魅力を3つの視点からスポットライトを当てて紹介する。今回のテーマは、「実用主義のジャーマンウォッチ」。質実剛健、機能重視、ミニマルといった特徴には、スイス時計とは異なる男らしい魅力が漂う。道具としての深さや揺るぎないクラフトマンシップに反主流の気骨が伝わるのだ。ここには登場する腕時計が繰り広げる群像劇がある。

腕時計はただそれだけでも美しい。しかし、それは腕に着けて初めて本来の存在感を主張する。そしてファッションとセッションすることで初めて自分らしく着こなせるのだ。



飾り気がない。それも男にとって最高の褒め言葉

NOMOS GLASHÜTTE

ノモス グラスヒュッテ / メトロ ネオマティック 41 アップデイト

ノモス グラスヒュッテは1990年にドイツ東部グラスヒュッテで設立。1906年創業の名門を前身に、東西ドイツ統合によって新たなスタートを切ったのである。創業者はデザイナー出身であり、また創業地がドイツ時計産業の聖地であったことから、実用機能とバウハウスの精神を受け継ぐ端正なデザインを融合する。2針とスモールセコンドのシンプルな表示に個性を添えるのが、ダイヤル外周に備えたデイト表示だ。独自の機構と表示においてふたつの特許を取得。ロジカルに時を刻む。SSケース、40.5mm径、自動巻き、55万円 / 大沢商会

ミニマルデザインのジャーマンウォッチに、モックネックのインナーと共地のカーディガンをアンサンブルで合わせる。すっきりとした首元はリラックス感があり、高機能素材のフリースゆえ保温性も高い。フェミニンな印象のアンサンブルだが、重厚感あるフラッグが男らしさを演出し、シンプルなスタイリングにさりげない大人の知性を醸し出すのだ。腕時計は右上を参照。カーディガン3万5200円、モックネックシャツ2万8600円 / とともにレイナーカー